

	<p>VOL 2 2007年9月号 発行2007年8月29日 日本山岳会 山岳地理クラブ URL www.jac.or.jp/doukoukai/</p>
---	--

私のおすすめ・1

会津・志津倉山 (1234.3m)

平野 彰

会津の山の案内と言われると、ここ数年は志津倉山を紹介することが多い。この山はJR只見線会津宮下駅から16kmほど奥にあり、ここからは交通機関も無いので、静かな山であること、規模の割には変化に富み、カシヤ猫など幾多の伝説と岩稜そして何よりもブナの原生林が豊富で、樹齢200年を有に越すものから、大小様々あらゆる年代のブナがあり、世代交代が順調に行われており、麓から山頂(1234m)まで全山ブナの山であることなどが要因である。

県外からこの山に登るのには、前日会津宮下駅付近の旅館か、温泉のある「ふるさと荘」に泊まり翌早朝出発するのがよい。交通が不便なので、マイカーか人数が纏ればマイクロバスを利用することになるが、前日時間に余裕があるようなら、柳津の虚空蔵さま、版画家の斉藤清美術館や三島町の生活工芸館見学、沼沢湖畔の惣山登山などもある。朝宿を出発間際の集落を抜け、約40分で大沢橋を渡ると登山口着く。登山口には志津倉山の会が仲間の遭難を悼み設置した「志津倉の鐘」がある。澄んだ音色はよく響くがもの悲しさも漂う。ここからは細ヒドコースと大沢コースの二つあるが、左側の大沢コースを辿ってみる。歩き初めてると早々に直径70cm以上はあるかとおもわれるブナの大木に出会う。さらに30分ほど登ると、右手に巨大な雨乞岩のスラブが現れる。



巨大なスラブの雨乞岩

三島町のパンフレットには、『その昔干ばつに苦しむ農民たちがこの岩に集まり「アンメータンメー、タンサクヤーイ水たんもれ竜宮やい」と祈禱するとたちまち雨が降ってきたという伝説があります。スラブを滑り落ちる幾条もの流は、まるで白糸の滝を思わせる光景です。この岸壁をバックにした紅葉の見事な景観は形容しようもありません。』とある。かつて若かりし頃この岩場でザイルワークの訓練をうけたこともある。最後の水場を後にシャクナゲ坂に取り付くと最大の難所、ミズナラなどの木々の茂る中滑りやすい急斜面をロープと鎖を頼りに登ると左側は垂直に切れ落ちた屏風岩の絶壁だ。大沢対岸にはカシヤ猫伝説の猫啼岩も望める。この辺での秋の紅葉はパンフの通りでまさに形容しがたい見事さだ。ここを登りきると三本松。一抱え以上もある五葉松が三本、気候も厳しく、狭い尾根は邪魔するものもなく悠然とそびえている。ここからの緩やかな登りを30分ほどでブナ平の主稜線となる。

ここから左が志津倉本峰(1203m)で藪となり、そのピーク付近には何の標識も無い。右へ10分ほどが志津倉山(1234.3m)2等三角点である。平成10年9月発行の1:2.5地形図では志津倉本峰が「志津倉山」と表示されその北側の岩場が屏風岩となっている。前出三島町の概念図ではシャクナゲ坂の絶壁が屏風岩と表示されており、さらに地形図には登山ルートはごく一部のみの記入で、この周辺の国土地理院の調査不足ではの感じもする。

ブナ平から山頂の尾根右手に「むかしブナ(古代ブナ)」がある、よく探さないと見つけにくい。普通ブナの葉は縁が丸みを帯びた凹凸になりその凹んだところに葉脈が出ているが、むかしブナは鋸歯状の先端に葉脈があるので、この特徴が分かれば見つけやすい。

志津倉山山頂からは北に飯豊山、東に磐梯山、南方には那須連山と360度の展望で、ブナの木陰での休息もよい。下山路は西側の細ヒドコースを辿る。

大辺峠への分岐から右へ急な坂を下りる。鎖と梯子を注意深く下る。途中糸滝を見て、ぶどう平に出る。ブナの原生林の中、平坦な道を辿ると大沢コースと合流する。後、登山口までは間近である。

第1回読図研修・変更のお知らせ

集合時間、場所、コースが変更になりました

9月9日予定の第1回の読図研修の集合場所、泉岳寺駅出口となっていました。動線の関係で集合場所を都営地下鉄三田線・白金高輪駅(目黒駅から二つ目)にします。従ってコースも以下ようになります。なお集合時間を9:30に繰り下げます。(北野)

日時: 2007年9月9日(日) AM9:30 (小雨決行)

集合: 地下鉄 都営三田線「白金高輪」改札口

行程: 集合地・白金西光寺(几号水準点)以降(几)と省略・

高輪大木戸石垣(几)・一等水準点(015-005)・一等水準点(札の辻)・三田綱坂(几)・三等三角点・芝東照宮(几)・芝円山古墳・日本経緯度原点・一等三角点(東京大正)・ロシア大使館前(几)・神谷町八幡神社(几)・西久保八幡貝塚・芝愛宕神社(几)・三等三角点・日比谷線神谷町駅=霞ヶ関駅・日本水準原点・解散地付近にて反省会(場所未定)

次回例会で最終参加者の確定を行います。参加希望者で例会に出席できない方は、北野まで連絡ください。

第2回読図研修の予告

第2回は障害物のない平地(田園地帯)での読図です
予定日: 2007年11月10日(土)(小雨決行)
集合: 関東鉄道常総線水海道駅 午前9時半集合
参考: 常磐線取手駅午前8時53分発(列車番号 3043)--->水海道午前9時24分着 解散地は未定

全く障害物がない田んぼの中で、目的地を目指して読図をすることは難しいか? もちろん方位と距離をたよりに、地図に記載されていない道を歩き読図に慣れることを目的とします。全行程直線距離で約12キロありますので、ジグザクに歩きますと何キロになるでしょうか。

地図: 1/2.5万地形図「藤代」「守谷」「水海道」「谷田部」
行程: 1) 北緯36度、東経140度の交点、2) 間宮林蔵記念館などを予定しています。詳細は例会で(担当・遠山) 048-771-0053

図書室の地図整理

JACの図書室には、たくさんの古い地形図が眠っています。どういう地図があるのか、全く整理されていないので、目当てのものを探すためには、全てのケースを確認してみなければなりません。これでは全くの宝の持ち腐れで、いつかは処分されてしまうのではという危惧さえ感じられます。

特に我が山岳地理クラブとしては、過去の地形や風土を調べるためには必要不可欠で、必要な場合には国会図書館や国土地理院に赴かなければ確認できないことになります。

少なくとも、地図名と保管場所だけでも判れば、無駄な手数をかけなくても済むのに...という気持ちから、この際我々の手で整理しようじゃないか! という声もちあがりこの事を図書管理委員会に打診していました。

8月8日急遽、平野・近藤でマップケースの移動を手伝い、整理のお手伝いという形で、管理委員会メンバーとの顔合わせをしました。具体的な実行案を次回例会で討議したいと思いますが、毎月例会日の午後と他に1~2回(平日18:00以降)整理作業を行う事を検討しています。AGCの活動の一環として行うので、時間の許す方は是非参加ください。(近藤)

行ってきました! 会員の山行報告

中央アルプスとの交信成功! 今井秀正

8月3~5日に中央アルプス木曾駒ヶ岳(伊那地方の呼び名は西駒)から南駒ヶ岳縦走に3名メンバーで行って来ました。台風5号は九州方面へそれたとはいうものの3、4日は猛烈な南から西の風雨で、歩行中は時々耐風姿勢をとらなければ飛ばされるほどでした。その夜は槍尾避難小屋泊。夜半の風雨は恐ろしい強さで、台風は能登半島沖通過中だったようです。5日は雨も上がり、7時前に前夜迷い込んだ駒ヶ岳から空木岳を経て南駒ヶ岳往復へ出発。空木岳頂上で遠山会員と約束の無線交信をするため439.32MHz(美ヶ原)に合わせて呼び出しましたが反応なし。そのまま歩き始めたところ、なんと小生のコールの呼び出しが聞こえるではありませんか。あわててザックから無線機を出して出力は5Wにアップしての交信。上尾の荒川土手とルデー同士で直線約160kmの交信成功。あちこちで試す面白さを感じました。

山は今、最高の花盛り。下山の池山尾根(避難小屋コース)ではコバケイの大群落、コツバガ、ムカトウチなどなどがゆっくり鑑賞できた、ちょっとハードな、でも楽しくそしてあまり暑くない山行でした。

富士山頂と上尾・東信の間でも交信可能

8月19日午後、富士山登山中(6合目)の今井会員と上尾の遠山会員間で筑波レピータでの交信成功。さらに16:00頃、山頂に着いた今井会員と、信州・八重原の近藤会員とで美ヶ原レピーター経由の交信成功。寒さとガスで視界のない場所から快晴猛暑でぐったりしている間でのやりとりでした。(近藤 記)

(追記) 今後もこの欄に無線交信の結果も報告ください

図書・資料の紹介

新刊 小嶋 尚著 **山を読む**(新装版) 岩波書店 ¥1,700-
1991年同書の新装版、山の景観観察の入門書で用語を平易に解説。山のスケールなど興味深い内容です(北野)
新刊 浅井健爾著 **大人のための日本地理**
日本実業出版社 ¥1400-
地理の常識とウンチク集。テーマ探しに役に立つかも(近藤)

訂正とお詫び vol-1のこの欄「山に訊け」の山村正光著は山岡光治著の間違いです。謹んでお詫びいたします。(編集担当)

例会の議事録

2007年8月1日(水) 19:00~20:15 於: ルーム104AB
出席14名(北野,平野,遠山,半田(7),半田(1),鶴田(3),片野,高橋,寺田(7),寺田(3),近藤,森合,植木(新入会),今井(順不同))

内容 ,新規入会者紹介(北野) 9月9日予定の読図研修の集合場所、時間変更の件(北野)1面参照 ,読図第2回(11月10日予定)は、谷田部 藤代の1/2.5万の地図を使う予定 AGCレポートの発送方法は当面郵送するが、費用がかかるので将来的にはメールの添付(pdfファイル)にしたい。(近藤) レポートの配布方法はこれからの課題(平野) AGCレポートの「行ってきました」「行きましょう」のコーナーはどしどし書いてください。原稿は毎月第2水曜日(近藤) 分水嶺関連の記録をもう少しまとめておきたい(北野) 図書室の地形図の整理は前向きに検討中。ただし書籍の移動予定がありもう少し待ってほしいとの回答が担当理事よりあり(近藤) ,同好会連絡会議(7/20開催)の報告。公益法人へ向けての準備状況、同好会の活動報告など(平野) 終了後「鯨の家」にて懇親会(12名) (記録・今井)

お知らせ

新規会員の紹介
植木淑美(12895) 東京都町田市在住 042-734-1498
今回の例会日

日時 **9月5日(水)** 18:30から
場所 山岳会 ルーム
テーマ: : 読図研修の詳細、地図整理について ほか
ミニイグ 終了後の懇親会も是非出席ください

編集後記

> 連日の猛暑でいささかバテ気味の編集作業でした。皆さんは如何でしたか? > 今号より「私のおすすめ」欄を設けました。皆さんの得意地域、鼻頂の山などを地理クラブらしい視点で紹介ください。> 会員への連絡や会報の配信方法としてインターネットが可能か否かを調査するために、先般登録されている全アドレスに確認メールを送付いたしました。まだ確実に配信できないことがわかりました。当面郵送によることにしますが、今後費用の面で検討しなければならない課題です(近藤)

AGC レポート vol-2 2007年8月29日発行
発行: 日本山岳会・山岳地理クラブ

〒102-0081 東京都千代田区四番町 5-4 日本山岳会 気付
TEL 03-3261-4433 FAX 03-3261-4441 編集担当：近藤
E-mail : hikarikon@nifty.com